

2022 年 9 月 26 日（月）

報道関係各位
プレスリリース

株式会社 SkyDrive

**SkyDrive 社、シリーズ C ラウンドで総額 96 億円の資金調達を実施
～「100 年に一度のモビリティ革命」実現のために、
『空飛ぶクルマ』と『物流ドローン』の開発を加速～**

「空飛ぶクルマ」（※1）および「物流ドローン」を開発する株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「当社」）は、株式会社三菱 UFJ 銀行をはじめとした 13 社を引受先とした第三者割当増資及び銀行融資によりシリーズ C ラウンドにおいて総額 96 億円の資金調達を実施したことをお知らせいたします。これにより、当社の累計調達額は約 147 億円となります。



2022 年 9 月 26 日（月）に大阪にて実施したプレス発表会の様子

■ シリーズ C における資金調達の引受先

- SCSK 株式会社
- 関西電力株式会社
- 近鉄グループホールディングス株式会社
- スズキ株式会社
- 損害保険ジャパン株式会社
- 東京海上ホールディングス株式会社
- 豊田鉄工株式会社
- 日本化薬株式会社
- 日本発条株式会社
- ペガサス・テック・ベンチャーズ
- 三井住友信託銀行株式会社
- 株式会社三菱 U F J 銀行
- りそなグループ

■ シリーズ B ～シリーズ C までの活動、今後について

当社は、「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、「空飛ぶクルマ」と 30kg の重量物を運搬できる「物流ドローン」を開発しております。

2019 年に日本で初めて「空飛ぶクルマ」の有人飛行に成功し、サービス実現のために、シリーズ B ラウンドが終了した 2020 年 9 月以降、2020 年 11 月には「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」設立当初から参画し（※ 2）、2021 年 9 月には大阪府、大阪市と「空飛ぶクルマ」の実現に向けた連携協定を締結（※ 3）、2021 年 10 月には日本で初めて「空飛ぶクルマ」の型式証明申請が国土交通省に受理され（※ 4）、2022 年 1 月には海外での事業展開を見据えて世界最大規模のテクノロジー見本市「CES2022」に出展し、「ロイターが選ぶ Best of CES30」と日本のスタートアップとして初めて「KEY TRENDS AT CES 2022」に選出いただきました。また、型式証明審査の適用基準(Certification Basis)を「耐空性審査要領第 II 部（第 61 改正）」ベースで構築することについて、2022 年 3 月に国土交通省航空局と合意する（※ 5）等、様々な活動を実施してきました。現在は、2025 年の大阪・関西万博開催時に、大阪ベイエリアでのエアタクサーサービスの実現を目指し、2 人乗り機体「SkyDrive 式 SD-05 型」（「SD-05」）を開発しています。

また、「物流ドローン」に関しては、2021 年 6 月に豊田市とドローン活用・社会実装促進に向けた協定の締結、2021 年 11 月には日本で初めて国内ドローンメーカーとして航空・宇宙及び防衛分野の品質マネジメントシステム「JIS Q 9100:2016」認証の取得（※ 6）、2022 年 8 月には電力会社における導入開始と、安心、安全な製品の開発と社会実装を着々と進めて参りました。

今回の調達により事業基盤、経営基盤を強化する事で、「空飛ぶクルマ」と「物流ドローン」のメーカーとして、機体開発、事業推進と中長期的な成長を加速して参ります。

■ 株式会社 SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤知浩 コメント

2 年前のラウンド B の資金調達完了以降、世界ではエアモビリティやビジネスドローンを中心とした新しい空のモビリティの本格的実現に向けた動きが加速し、当社としてもカーゴドローン事業の本格開始、商用機「SD-05」の開発推進などをしてまいりました。今回、新たな資金調達と、事業で密接に関わる方々との資本提携を発表させていただくことになり、大変感謝しております。

関西電力株式会社・近鉄グループホールディングス株式会社・リソナグループとは、関西エリアを中心に事業開始に向けた様々な議論をさせていただいています。ソフトウェア開発では SCSK 株式会社と連携させていただき、スズキ株式会社とは量産やインド・アジア地区地域での販売の可能性を共創させていただいております。損害保険ジャパン株式会社・東京海上ホールディングス株式会社とは、安全安心を担保するための保険の検討を推進中、豊田鉄工株式会社・日本化薬株式会社・日本発条株式会社には部品を中心にモビリティ全体の開発でご協力いただいております。ファイナンスの分野では、三井住友信託銀行株式会社・株式会社三菱UFJ 銀行にご支援いただき、ペガサス・テック・ベンチャーズには世界と日本をつなぐ VC としてお世話になっております。

まずは物流ドローンによる危険で大変な作業のサポート、そして 2025 年のエアモビリティのサービス開始を通じて、モノや人が自由に空を移動する世界を作って参ります。

※1 空飛ぶクルマとは：明確な定義はないが、「電動」「自動（操縦）」「垂直離着陸」が一つのイメージ。諸外国では、eVTOL（Electric Vertical Take-Off and Landing aircraft）や UAM（Urban Air Mobility）とも呼ばれ、新たなモビリティとして世界各国で機体開発の取組がなされている。モビリティ分野の新たな動きとして、世界各国で空飛ぶクルマの開発が進んでおり、日本においても 2018 年から「空の移動革命に向けた官民協議会」が開催され、2030 年代の本格普及に向けたロードマップ（経済産業省・国土交通省）が制定されている。

引用元：国土交通省（令和 3 年 3 月付）<https://www.mlit.go.jp/common/001400794.pdf>

引用元：経済産業省（令和 4 年 3 月付）https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/air_mobility/pdf/008_01_02.pdf

※2 「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」参画に関する当社プレスリリース
<https://skydrive2020.com/archives/4607>

※3 大阪府、大阪市との連携協定に関する当社プレスリリース
<https://skydrive2020.com/archives/7012>

※4 日本初、「空飛ぶクルマ」の型式証明申請受理に関する当社プレスリリース
<https://skydrive2020.com/archives/7415>

※5 型式証明審査の適用基準に関する当社プレスリリース
<https://skydrive2020.com/archives/9238>

※6 「JIS Q 9100:2016」認証取得に関する当社プレスリリース
<https://skydrive2020.com/archives/7679>

≪株式会社 SkyDrive 概要≫

設 立	2018 年 7 月
代 表 者	代表取締役 CEO 福澤知浩
U R L	https://skydrive2020.com/
所 在 地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 東京オフィス：東京都新宿区 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 号 大阪駅前第 1 ビル 8 階
事業内容	「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018 年 7 月に設立、「空飛ぶクルマ」及び「物流ドローン」を開発しています。「空飛ぶクルマ」の開発においては、国内で唯一、公開有人飛行試験を実現し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与しております。30kg の荷物を運搬可能な「物流ドローン」は、山間部を中心とした作業現場で活用いただいています。「空飛ぶクルマ」は、現在 2 人乗りの機体を開発中、2025 年に大阪ベイエリアでのサービス開始を目指しております。

本件に関するお問い合わせ

≪株式会社 SkyDrive≫

広報担当 大石：070-2246-8375

広報責任者 宮内：090-7226-6704

Email: info@skydrive.co.jp